

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 新型コロナウイルス感染症対策の経験を小平市の災害対策に生かすために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

新型コロナウイルス感染拡大にともない、国、都、小平市においてこれまでにない、さまざまな対策が取られています。このような感染症が蔓延する状況のなかでも、台風による災害や大地震が起こる可能性は否定できません。これまでも 3 つの密の状態を避けることが難しい避難所などでは季節性のインフルエンザなどの感染症が流行拡大したとの報道がありました。今後、新型コロナウイルスを始めとした未知の感染症が災害時に発生することも念頭に入れた災害対策が必要です。

安心して暮らせるまちづくりのために小平市における災害対策をより強化するために以下質問します。

- 1、小平市新型コロナウイルス感染症対策本部から、5月14日、公立昭和病院に市が保管する防護服や医療用マスク、グローブを貸与したとの報告がありました。これらは何に基づいて準備していましたか。小平市の感染症対策についてお示してください。
- 2、マスクや消毒液の備蓄量を増やす必要があると考えます。マスクは布マスクも備蓄すること、消毒液については業者と災害時の協定を締結することや、市として消毒液を製造する機器を購入することも考えていただきたいと思いますが見解は。
- 3、緊急事態宣言期間中、家庭ごみや資源、粗大ごみが増え、回収や処理に支障があったとの報道がありました。小平市での状況についてお示してください。
- 4、大地震など災害時の避難所において、感染症対策として隔離できるようなテントの整備や専用の避難所の開設が必要と考えますが、見解をお示してください。
- 5、感染防止のためにせっけんの使用が推奨されています。手洗いや洗濯のためには十分な生活用水が必要です。学校のプールの水の利用だけでなく避難所や公園には防災用の井戸の設置が必要と考えます。見解をお示してください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 2 年 5 月 22 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【           】

26	25	24	23

-(        /        )